

令和4年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 利用者数推移表 ヘルパーセッションあい

介護度/対象年月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
平均介護度		2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.4	2.3	2.3	2.3
	小計	57	58	57	58	59	63	63	66	63	67	67
総合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	小計(男性)	12	11	11	11	11	12	12	13	13	14	14
要介護1		21.1%	19.0%	19.3%	19.0%	18.6%	19.0%	19.0%	19.7%	20.6%	20.9%	20.9%
	小計(女性)	45	47	46	47	48	51	51	53	50	53	53
要介護2		78.9%	81.0%	80.7%	81.0%	81.4%	81.0%	81.0%	80.3%	79.4%	79.1%	79.1%
	小計	15	16	16	16	16	19	19	17	17	18	18
要介護3		26.3%	27.6%	28.1%	27.6%	27.1%	30.2%	30.2%	25.8%	27.0%	26.9%	26.9%
	小計	19	20	21	20	20	20	22	24	23	24	24
要介護4		33.3%	34.5%	36.8%	34.5%	33.9%	31.7%	34.9%	36.4%	36.5%	35.8%	35.8%
	小計	12	12	12	12	12	12	12	13	13	15	15
要介護5		21.1%	20.7%	21.1%	20.7%	20.3%	19.0%	19.0%	19.7%	20.6%	22.4%	22.4%
	小計	8	7	5	6	6	6	6	8	7	7	7
同一建物内利用者(七福)		14.0%	12.1%	8.8%	10.3%	10.2%	9.5%	9.5%	12.1%	11.1%	10.4%	10.4%
	小計	3	3	4	5	6	4	4	3	3	3	2
建物外利用者(地域提供)		5.2%	5.3%	6.9%	8.5%	9.5%	6.3%	6.1%	4.8%	4.5%	4.6%	3.9%
	小計											
中止者内訳	看取り											
	入所	1	1		1					1	1	1

同一建物内利用者(七福)	47	48	47	47	49	49	54	58	53	57	57
建物外利用者(地域提供)	10	10	10	11	8	9	9	8	10	10	10
中止者内訳											
看取り		1					1			1	1
入所	1	1		1					1	1	1

※同一建物内減算、50名を超えると600単位/月から900単位/月に変更。今年度は10月から50名を超えています。平成26年7月の開所以来、建物内の定期巡回サービスのご利用者数が50名を超えるのは初めての事。

## 令和4年度 定期巡回随時対応型訪問介護看護 活動報告(令和5年1月時点)

定期巡回随時対応型訪問介護看護のご利用者数 67名

内訳) サービス付き高齢者向け住宅・七福内 ご利用者数 ⇒ 56名

在宅でのご利用者数 ⇒ 11名

昨年10月から、建物内のご利用者数が50名を超えました。平成26年7月の開所以来、建物内の定期巡回サービスのご利用者数が50名を超えることは初めてのことで、これに伴い、同一建物内600単位から900単位に変更となっております。

建物内の利用者数の増加について、新入居の方だけでなく、元々入居されていた方の退院後に定期巡回サービスへ変更になったことが重なりました。建物内でのサービス提供時間増に伴い、ヘルパーの人員配置について見直しが必要となっております。特に朝、夕の食事の時間帯、在宅のご利用者様とも時間が重なることが増えるため、人手の確保が今後も課題となっております。

建物外のご利用者様が10名を超えております。主な援助内容が服薬、点眼の支援、確認の他、食事の確保(買い物、調理、配膳)、排泄介助、入浴介助、掃除、洗濯等で、一日に1~3回の定期訪問、緊急のコールや体調不良等に合わせてヘルパーが随時対応を行っております。

## ～事例紹介～①

・H.M様 男性 72歳 要介護 1 (独居)

既往歴 ⇒ 認知症,くも膜下出血、糖尿病

### ～サービス利用までの経過～

令和2年9月頃に名古屋市北区に引越し。ご本人様は記憶なし。

令和3年10月、半年ほど前から電気、水道の料金が止められているとのこと。

東部いきいき支援センターの初期集中チームの方が受診付き添い、通帳作成、公共料金の支払等の支援をされており、後見人をつける予定。

御家族とは長年疎遠、連絡もしてほしくないのご本人様の希望あり。

血糖値566、ご本人様は入院拒否、服薬もできていない。

令和4年1月からヘルパーが毎日訪問し服薬確認のため定期巡回随時対応型訪問介護看護でサービス開始となりました。

定期巡回訪問介護・毎日夕方に訪問 ⇒ 服薬確認、安否確認、掃除、洗濯買い物等

訪問看護 ・ 週1回訪問 ⇒ バイタルチェック、服薬確認、足浴等の日常看護 等

### ～利用後の経過～

毎日の訪問で服薬はしていただけています。当初は訪問してもご本人様も買い物等で外出されており、訪問時間を遅くするなどして対応、調整していました。生活用品など、必要に応じて買い物代行を行わせていただくも、整容に関しては殆ど拒否あり。時折近くの銭湯にお一人で行かれるものの、転倒して帰宅されたこともありましたが、入浴も間隔がかなり開いています。着替え、清拭も拒否。布団のシーツ類の洗濯、交換、室内の掃除も拒否気味でお声掛け、タイミングがかなり工夫が必要。サービス開始から約1年が経過、大きな体調変化はなく、往診に切り替わり、2週間に一度の往診があります。往診後に近くの薬局へヘルパーがお薬の受け取りを行っています。整容面に関して、状況変わらず、一月に一度も入浴されないことが当たり前になりつつあります。床屋、髭剃りも拒否で、かなり伸びています。

近くのコンビニ、ドラッグストアへの買い物は毎日お一人で行かれてはいるものの、レシートを見ると時間帯はバラバラで、早朝、深夜帯に買い物されている時もあるようです。

### ～課題～

整容面での支援を受け付けない。入浴、着替えが出来ておらず、衣類も古いもの、破れたもの、同じものをずっと着られているので、毎日の訪問で着替えや新しい衣類の購入についてもお声かけを継続していきます。受診などの外出が無いから、服や髪の毛、髭について気にしても仕方ないでしょう、とご本人様から聞かれています。また、ご本人様から体調が悪い、どこかが痛いといった訴えもあまりないの方なので、日々の訪問で、体調面等の変化についても注意していきます。

## ～事例紹介～②

・K.K様 女性 84歳 要介護 1（障害を持つ息子様とお二人暮らし）

既往歴 ⇒ 認知症、糖尿病

### ～サービス利用までの経過～

主治医から東部いきいき支援センターへ服薬が出来ていない旨の連絡あり。数値も悪く、入院を勧めるも同居の息子様のこともあり入院を拒否。長谷川式 20点でも認知症自立度はⅢa。毎日の服薬のため、ヘルパー導入となりました。

令和3年9月末からサービス開始。ご本人様は自転車で買い物へ行く事もでき、ヘルパー訪問時に不在の可能性もあるため、従来型訪問介護よりも定期巡回随時対応型訪問介護看護でのサービスを提案させていただきました。（※定期巡回であれば、訪問時に不在でもキャンセル料はかからず、時間を置いての再訪問することで、服薬の確認もでき、利用料金も月額という面で定期巡回のサービスを提案させていただきました。）

定期巡回訪問介護・毎日朝に訪問 ⇒ 服薬確認、安否確認、受診付き添い、薬受取り、ゴミ捨て等  
訪問看護 ⇒ 利用無し

### ～利用後の経過～

毎日の訪問で服薬はしていただけていますが、毎日人が来ることに拒否気味で、お薬を飲んでいただくまでに時間がかかりました。毎日のように「自分は病気ではないし、薬は一人で飲める、毎日来なくてもいいです」といった内容を訪問するヘルパーに言われたり、時折事務所にお電話をいただきました。

金銭管理ができておらず、定期的に生活費を持ってきてもらいますが、曜日が把握できず、届けられた生活費もすぐに使ってしまう等で「まだお金をもらっていない、いつ届けに来てくれるのか」の連絡が色々な所に電話されている時期もありました。説明してもすぐ忘れられてしまうため、その都度ご説明させていただきました。

債券回収業者から連絡が来たこともありました。

買い物へはご自分で行かれていましたが、冷蔵庫内に残っている同じものを購入されてしまったり、2つある冷蔵庫内が不衛生な状況になっても処分ができない、ヘルパーにもさせてもらえないという状況が続きました。

12月中旬から食事が摂れなくなり、ヘルパー付き添いで受診、採血の結果、炎症反応が高く、抗生剤処方されて帰宅されていますが、18日胸内苦悶の訴えあり救急搬送、心不全、肺炎のため入院となりました。

自宅へ戻ることは困難となり、ヘルパー中止となりました。

今回いただいたご意見(連携先訪問看護、居宅介護支援事業所、いきいき支援センター)

・定期巡回で毎日訪問して頂き、状態確認、服薬管理などして頂く事は、とてもありがたく感じております。利用者様にとっても、毎月定額料金で、頻回にサービスを受けられる事は魅力的だと思います。私共と一緒に関わらせて頂いている利用者様の中には、サービスの提供が難しく、清潔ケアなど受け入れて頂けない困難なケースの方もいますが、いつかはサービスを受け入れて下さり、衛生面でも精神面でも環境が整った自宅で生活ができる日が来ることを切に願うばかりです。

・私共の訪問時、最初に部屋の環境がどうか目につきます。訪問介護にて掃除などがきちんとして頂けていると、訪問時に不快な思いをする事も少ないです。掃除は自分でやるからいいとプランに入っていない利用者様も多いのかなと思いますが、訪問時に本当に自分で掃除ができているのか確認して頂き、適宜プラン変更などして頂けると助かります。

・対応が難しい利用者に対しても、根気強く毎日対応して下さり、本当に助かっております。利用はじめは拒否傾向だった利用者も、毎日支援していただくことにより、徐々に心を開いてくれるようになり、必要な支援を継続していただくことにより在宅生活が継続できていると思います。

・定期巡回により毎日ご本人や家族の状況を観察していただき必要時相談をしていただけたため、新たな課題や問題が発生した時に迅速に対応することができました。

情報収集源の重要な役割を果たして頂いていると思います。

・一人暮らしで支援者がいない利用者にとって(特に認知症の利用者にとっては毎日必要な服薬確認など)、必要なサービスだと感じています。

・介護度が低いが、毎日のケアが必要な方を担当することになり、定期巡回を利用させて頂くことになりました。服薬介助を主として依頼しましたが、それ以外の所もサポートして頂き大変、助かっています。24時間オペレーション対応も、体調不良時など相談でき、アドバイスや指示をして頂けるので、ご家族様も心強いと思います。

・自分の担当地域に定期巡回サービスがあり良かったと思っています。このサービスが無かったら、利用者様は不本意ながら入院されているのではないかと思い、感謝で一杯です。

・365日、24時間対応を継続して提供していくことは、本当に大変だと思いますが、この地域のケアサポートが必要な方々の強い味方と思いますので、スタッフの方々も健康に留意しながらこれからも質の良いサービスを提供し続けて下さいますよう宜しくお願い致します。